

平成20年度当初予算の概要

平成20年度予算が、平成20年第1回町議会定例会で可決され、一般会計など6つの会計が執行されることとなりました。平成20年度当初予算の概要を次のとおり紹介します。

東川町の平成20年度予算は、一般会計が40億5,200万円で前年度比較1,050万円、0.26%減、特別会計総額では6億6,440万円で前年度比較810万円、1.23%増となり、一般会計と特別会計の合計では47億1,640万円(前年度比較240万円、0.05%減)となりました。

一般会計 税金などを主な収入とする町の基本的な事業予算
 特別会計 下水道等の使用料など、特定の収入で行う事業予算

一般会計・特別会計当初予算額

単位:千円

会計区分	本年度	前年度(6月補正後)	伸び率%
一般会計	4,052,000	4,062,529	0.26
特別会計(合計)	664,400	656,305	1.23
国民健康保険	200	800	75.00
簡易水道事業	40,000	37,000	8.11
公共下水道事業	150,900	197,000	23.40
国保町立診療所	407,500	421,505	3.32
(新)宅地造成事業	65,800	0	皆増
総合計	4,716,400	4,718,834	0.05

一般会計における予算の特徴

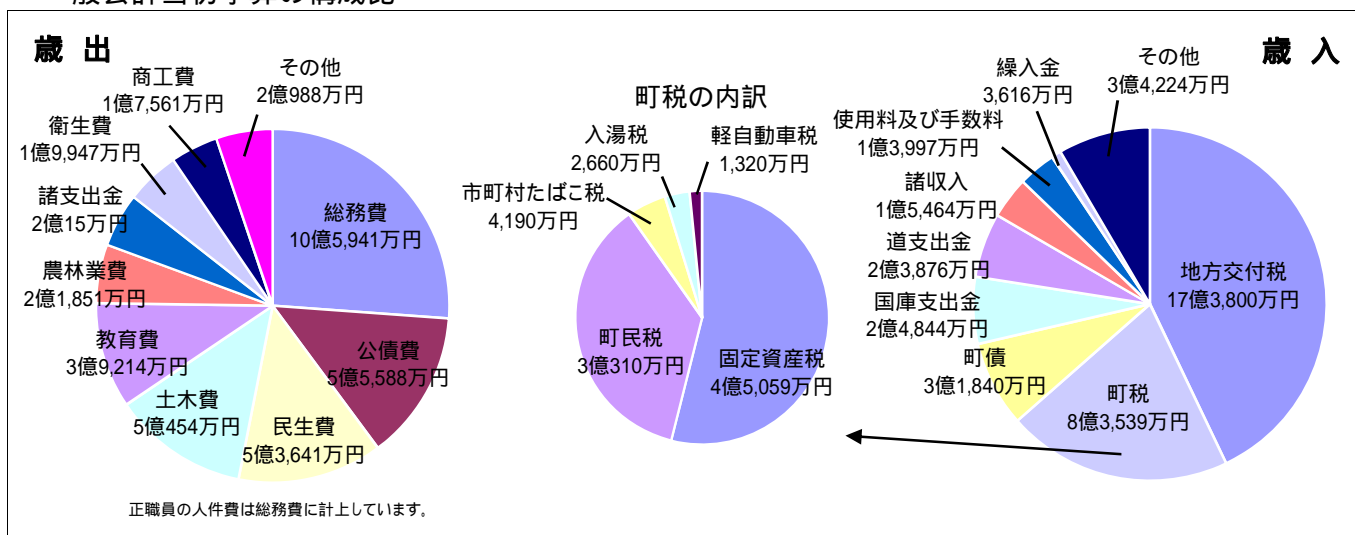
平成19年度の当初予算については、町長選挙のため骨格予算による予算編成でありましたが、町長選挙後の政策予算を含めた平成19年度(6月補正後)の予算額は、40億6,250万円となりました。

平成20年度の当初予算は、40億5,200万円であり、平成19年度(6月補正後)の予算額と比べますと、1,050万円、0.26%減となりました。

地方交付税は地方財政計画では1.3%増となり、3年ぶりに増加に転じました。また、地方の自主的・主体的な活性化施策として、「地方再生対策費」が設けられたことから、地方交付税の増加が見込まれます。平成20年度は、前年度予算額と比較し、2.3%増を見込んでおりますが、予算編成では「新まちづくり計画プライムタウン21-1」「東川町新行財政改革大綱(自主・自立集中改革プラン)」に沿った事業計画や事業の見直し・効率化を進め、財源確保に努めました。

結果として、予算総額は前年度と同程度を確保しており、引き続き「まちづくり交付金」「地域住宅交付金」による建設事業の展開や「景観形成総合支援事業補助金」による景観団体としてふさわしい景観に配慮した公共施設等の整備を行います。また平成20年度から「農山漁村活性化プロジェクト支援交付金」による来訪者と定住人口の増加を目的とした生活環境・交流基盤の整備及び農村地域の振興に必要な事業を行うとともに、ソフト事業においては子育て・教育・高齢者施策に重点をおいた事業費を計上しました。

一般会計当初予算の構成比



平成20年度の主な建設事業費

・西部コミュニティセンター改修工事(地域政策補助金)	3,250万円	・まちづくり交付金事業(グリーンヴィレッジ整備他)	8,860万円
・景観形成総合支援事業(国補助)	5,460万円	・天人峡天津橋架替え事業(国交付金)	1億3,498万円
・合併処理浄化槽設置整備事業(国補助)	995万円	・東町4丁目団地整備事業(地域住宅交付金)	1億2,789万円
・地域用水機能増進事業補完ハード事業(道補助)	5,275万円	・小中学校教育用コンピューター整備	812万円
・農山漁村活性化支援プロジェクト交付金事業(国補助)	1,140万円	・低コスト推進施設建設事業(補助金)	1,000万円
・電源立地交付金事業(公園・教育施設整備・文化ギャラリー)	1,175万円		

東川町の財政を家計にたとえると...

平成20年度の町の予算は40億5,200万円(一般会計)となりましたが、「合計額のケタが大きくて実感がわかない。」「財政用語が分かりにくい。」という声をよく耳にします。

そこで、家庭の家計と町の財政では仕組みが違いますが、分かりやすく説明するために町の予算額を家庭収入100万円に置き換えた家計簿で資料を作成してみました。

町の会計は、一般会計、特別会計に分けられていますが、ここでは平成20年度一般会計の当初予算を家計簿に置き換えて説明したいと思います。

東川町の家計簿

(参考)
昨年度数値

収入

給料(町税・地方交付税)	63万円
パート収入(使用料・手数料など)	10万円
親からの仕送り(国からの補助金など)	17万円
借金(町債)	8万円
貯金の解約(繰入金)	1万円
財産(土地や家)の貸付など(財産収入)	1万円
合計	100万円

家族で稼いだお金 73万円	72万円
家族で稼いだお金 + 親からの仕送り 90万円	89万円

支出

食費(人件費)	20万円
家族の医療費(乳幼児医療費などの扶助費)	4万円
光熱水費、被服費、その他雑費(消耗品費・燃料費・通信運搬費など)	33万円
車や家具の修理代(維持補修費)	1万円
子供たちへの仕送り(特別会計への繰出金、広域連合への負担)	12万円
借金の返済(住宅ローンの返済などによる町債費)	14万円
家の増改築(公営住宅建設、道路整備など)	15万円
貸付金(貸付金)	1万円
合計	100万円

生活費70万円	71万円
生活費 + 借金返済 84万円	85万円
財産づくり	14万円
親戚などへの支援	1万円

収入の柱は給料の63万円とパートの10万円、それと親からの仕送り17万円です。支出は日々の生活費として70万円、住宅ローンの返済などに14万円、家の増改築費に15万円かかっています。

資料 平成19年度末基金(貯金)と町債(借金)残高見込

基金		町債	
百万円		百万円	
一般会計	(H18末)	一般会計	(H18末)
財政調整基金	341	建物(公営住宅除く)、道路の整備などに借りたもの	
減債基金	205	平成19年度末残高見込	2,456
公共施設整備基金	418	うち国の交付税で補てんされる金額	734
ふるさと創生事業基金	111	差引残高(町が負担する額)	1,722
地域振興基金	104	財源不足を補うために借りたもの(臨時財政対策債など)	
地域福祉基金	346	平成19年度末残高見込	1,467
写真の町文化基金	124	全額が国の交付税で補てん	
未来を拓くみんなの夢基金	200	公営住宅の建設のため借りたもの(入居者の負担を基本)	
総合体育館建設基金	16	平成19年度末残高見込	1,479
小計	1,865	特別会計	
土地開発基金	151	簡易水道事業分	550
備荒資金	77	下水道事業分	968
一般会計合計	2,093	診療所分	541
特別会計		うち国の交付税で補てんされる金額	944
公共下水、診療所	9	差引残高(町と受益者の負担額)	1,115